



メインは「海のミュージアム」

「マリナーシティ和歌山館(仮称)」は鉄骨三階建てで、恒久施設としての内容は、一、二階の両階にわたる「海のミュージアム(博物館)」を中心に、一階に和歌山県の文化・歴史・観光・自然などを紹介するコーナー、一階に天井が球体をしたドーム型多目的ホール、カフェテリア(喫茶室)を、また二階には会議室や研修室などを設けることとしています。

で、一階から三階にかけて海底から海上へと海中を浮揚する感覚を体験できるような施設も計画しています。一階の入口部分では、霧を利用した特殊なスクリーンに海の映像を映し出すことで、陸上から海中に誘い込むような幻想的な演出を行う予定です。また室内では、海と人との関わりや海洋開発の歴史と未来を映像で紹介するほか、「海の神秘」・「海の冒険」をテーマに、子供たちにロマンを与えようとする映像装置、クイズとゲーム形式で海に関する情報を提供するコンピュータ、海底資源の探査を体験できるシミュレーション(模擬実験)装置なども設置することになっています。

このマリナーシティ和歌山館は、世界リゾート博開催期間中(七月十八日~九月二十五日)には、自治体館として、高野文化、熊野文化、県内の温泉等を広くPRする展示のほか、県下市町村の紹介、ドーム型多目的ホールでの全天周映像による和歌山県の紹介など、趣向を凝らしたパビリオンとしての機能も果たすことになっています。

世界リゾート博の主会場となる建設中の和歌山マリナーシティ(和歌山市毛見沖)



海の幸で賑わう「フィッシューマンズウォーフ」

フィッシューマンズウォーフはテーマパークの西隣に建設。魚市場では、和歌山の豊富で新鮮な海の幸を販売。また、世界のシーフードが味わえるレストランや屋台コーナー、小物の店など全部で四十店舗が予定されています。

● そのほか、将来、収容隻数約一千百隻の日本最大級マリナーの運営管理を行うこととなる「マリナークラブハウス」、日本初の発電所抽気利用システムによる地域冷暖房を行う「エネルギーセンター」も同時に起工されています。

世界リゾート博関連施設

「マリナーシティ和歌山館」 「テーマパーク」建設へ

平成六年・夏、二十一世紀のリゾート体験をメインテーマに開催する「世界リゾート博」の中核施設ともなる、「マリナーシティ和歌山館(仮称)」と、「テーマパーク」、「フィッシューマンズウォーフ(観光魚市場)」などの建設計画がまとまりました。

「マリナーシティ和歌山館」は、和歌山県の文化、自然などを広く全国に紹介する施設として、県が建設するもので来年六月の竣工に向け、間もなく着工の予定です。

また、一月二十一日に起工式が行われた「テーマパーク」と「フィッシューマンズウォーフ」は、和歌山マリナーシティが目指す「遊・楽・住・商」の機能の内、「遊・楽」の役割を担う施設として、松下興産(株)が建設するものです。

これらの施設はすべて、世界リゾート博後も和歌山マリナーシティの恒久施設となるもの。博覧会にむけて、いよいよ施設整備が始まりました。



異国情緒が漂う「テーマパーク」

一方、松下興産(株)によって建設される国際的テーマパーク「PORTO EUROPA」(ポルト・ヨーロッパ)は、マリナーシティの南西部に位置し、米国のMCAレクリエーション・サービスクの企画、基本設計に基づいて、十八世紀の地中海の港町の風景を素材とした街並みを形成し、四つのアトラクション施設や多目的ホール、レストランなどから構成されます。



アトラクション施設紹介

スタントホール (仮称)



収容人数約八百人の屋内劇場の中で、笑いとおかしさ、特殊効果でいつぱいのスタントショーが繰り広げられます。

ウォーターライド (仮称)

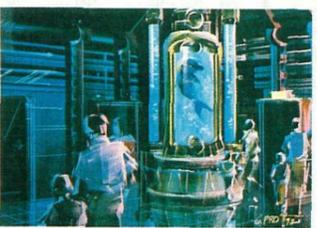
二百メートルの水路、二十メートルの高差という迫力いつぱいの乗り物、ウ

バーチャルリアリティ (仮称)

特殊な眼鏡を付けて行うコンピュータ・グラフィックによる仮想現実体験ゲーム。映像が体の動きに連動して変化します。

シミュレーション・シアター (仮称)

劇場が潜水艦内部となり、目の前に映し出される巨大な映像に連動して座席が激しく動きます。神秘的な深海を臨場感いつぱいに楽しめます。



世界リゾート博特別記念入場券限定販売中

世界リゾート博の開催を記念して、紀州漆器を素材とした「特別記念入場券」を1月から限定販売(3,000個)しています。定価 6,000円(郵送希望の方は送料共6,500円を現金書留でお申込みください。)

申込先 〒640 和歌山市西汀丁26番地県経済センター内 世界リゾート博協会特別記念入場券係 ☎(0734) 33-6131
数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。
くわしくは申込先へ



県議会だより 十二月定例会より

均衡ある県勢の発展、世界リゾート博、関西国際空港など論議



十二月定例会は、十二月一日から十七日までの十七日間にわたって開かれ、平成四年度一般会計補正予算をはじめ、「和歌山県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」等十七議案が原案のとおり可決されました。また、継続審査となっていた公営企業決算を認定するとともに、平成三年度和歌山県歳入歳出決算の認定については、特別委員会を設置、委員の選任が行われ、二月定例会までの閉会中の継続審査とされました。

このほか、「道路特定財源税制の拡充に関する意見書」、「国民の祝日「海の日」制定に関する意見書」、「環境宣言に関する決議」が可決され、それぞれ関係機関に送付されました。

議案に対する質疑及び一般質問には、十二人の議員が登壇し、均衡ある県勢の発展、関西国際空港、世界リゾート博、東京佐川急便事件、教育問題、地方拠点都市整備法、道路・交通網整備、不況対策、内川浄化、福祉施策、熊野古道の整備、紀勢本線のスピードアップ、和歌浦の振興、農業・水産業の振興など県政各般にわたり活発な論議が交わられました。

以下、そのいくつかを取り上げてみました。

均衡ある県勢の発展への取り組みについて伺いたい。

関西国際空港の開港を控え、本県、特に和歌山市を中心とした紀北地域にとって大きな飛躍発展の好時期であると考へており、各種プロジェクトを積極的に推進している。紀南地方についても、高速道路の南伸、白浜空港のジェット化、企業団地づくり等の整備に努めている。

また、紀南地方は過疎化、高齢化が進んでおり、県勢の均衡化を図るため、若者が定着できるような地域形成のために高速交通体系の整備や自然、歴史、文化と調和のとれた文化機能、居住機能、産業振興対策等を積極的に進めていかねばならない。

特に本年制定された地方拠点都市整備法を活用し、市町村ともども生活大圏にふさわしい新

しん観点からの地域づくりを積極的に進めていきたい。

東京佐川急便問題に対する所見を伺いたい。

県議会をはじめ各市町村議会において多くの意見書が提出されているように、東京佐川問題を引きついで、国民の政治に対する不信感が一段と増幅したことは事実であり、非常に残念である。

政治に対する倫理感の確立、抜本的な政治改革を求める国民の声を重大さを強く認識するとともに、県民の信頼に応えられる公正で清潔な政治を継続していく。

治改革が、早急に成し遂げられることを期待している。

世界リゾート博開催による効果と企業・団体等によるパビリオンの発展について伺いたい。

世界リゾート博開催の一年前から県内各地域の特性や豊かな自然・文化・歴史資源を活かしたイベントを展開し、本県のイメージアップを図り、地域の活性化につなげるとともに、博覧会場から二十一世紀のリゾート情報の発信をし、和歌山を国際リゾートエリアとして定着させるという大きな意義と目的を持っている。

交通死亡事故の抑止対策について伺いたい。

交通死亡事故は下半期に入っても増加傾向にあり、十月二十八日に死亡者が百名を教え、誠に憂慮すべき情勢となったため、その翌日「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令し、現在、関係機関・団体の協力を得て年末年始の交通事故防止と併せて広報啓発を重点とした緊急対策を推進中である。

今後とも「シートベルトの着

紀勢本線のスピードアップと列車の関西国際空港への直接乗り入れについて伺いたい。

紀勢本線のスピードアップは、かねてからJR西日本と随時意見交換の場を設け、その輸送力増強等について働きかけを行ってきている。

阪和線、紀勢本線と和歌山・田辺間のさらなるスピードアップには、車両の加速、減速等の性能の向上や軌道構造、信号、踏切などの施設改良が必要とされており、今年度実施している「高速交通体系調査」においても、これらの区間の「高速化」も検

米の自由化問題について所見を伺いたい。

かねてから全国知事会を通じ政府に対し、米の自由化阻止を強く要望してきた。

ウルグアイラウンドの決着を目指してECと米国の間で農業政策で基本合意を得たということが伝えられているが、日本の農業にとっても非常に厳しい段階に入っていることは事実である。

政府は、米を一律関税化の例外として取り扱っていくという基本方針で努力すると言明している。

これら国の動向を注視しながら従来の自由化反対の基本方針を厳守してまいらる所存である。

米はわが国農業の中心であり、国の主要産業でもあり、食糧安全保障の面においても重要である。また、稲作農家の問題だけでなく農村社会、環境保全の面においても水田の果たす役割は非常に大きく、日本の生活・文化、伝統等を農村が支えている現状であり、こうした点を重視し、努力していきたい。

用「徹底」、「夜間の交通事故防止」、「飲酒運転の追放」などを重点に各種団体等の協力を得て、運動の輪を広げていきたい。

米の自由化問題について所見を伺いたい。

かねてから全国知事会を通じ政府に対し、米の自由化阻止を強く要望してきた。

ウルグアイラウンドの決着を目指してECと米国の間で農業政策で基本合意を得たということが伝えられているが、日本の農業にとっても非常に厳しい段階に入っていることは事実である。

政府は、米を一律関税化の例外として取り扱っていくという基本方針で努力すると言明している。

討課題として進めている。

今後、この調査結果を踏まえ、関係機関と協議していきたい。

また、関西国際空港への直接乗り入れについて、JR西日本、南海電鉄に対し強く働きかけを重ねている。

運行実施に当たっては旅客需
要などの不確定要素もあるが、
県民の利便性や本県の観光・産
業の振興を図るため、輸送力強
化促進委員会等の協力をいただ
き幅広い活動を展開していきたい。

同和連載

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。

子供たちがそれぞれの生活の中で素直な目で見た「人権」へのまなざし。

私たち大人への呼びかけです。

電車の席

田辺市 田辺第二小学校 三年 木村 正和

「トンゴーン。トンゴーン」という音がびくびく。ぼくは、朝早くから電車で乗って和歌山に行くことになった。

乗って、十五分ぐらいたると、たかさんのおじいさん、おばあさんが乗ってきて、たちまち電車は満員になった。

まだ和歌山に着くまでに時間はあるので、ぼくは目止まった。一人のおばあさんが目止まった。そのおばあさんは、ぼくの正面に立っていて、一度に入ってきたおじいさん、おばあさんたちのうちの一人だった。

もう八十歳に近そうなおばあさんなので、「どうしよう。席をかわってあげようかな。」と思ひ、言おうか言わないでおこうかと迷ったけど、決心がつかず、言えないでいた。

なんだか、「席、かわりませうか。」の一言が、言えそうで言えない、そんな思いがした。

電車がゆれるたびにふらつき、今にもたおれそうなおばあさんの姿が目につくたびに何度も言おうとしたけど、結局は言えずに和歌山に着いてしまった。

降りた電車の時、そのおばあさん

「そうですか。」と言ひ、もう一度、席に替った。

結局、二人のおばあさんには、席にすわってもらうことができなかったけれど、結局、決心ができて言えなかったよりは、ことわられたとしても言った方が、ずっとすっきりしていいと思った。

これからも、そんなおじいさん、おばあさんに出会うこともあると思う。その時には、勇気をふりしぼり、思い切って、「席かわりませうか。」といひたい。

確定申告は早く済ませよう

○平成四年分の所得税、五年度分の県・市町村民税、個人事業税の申告手続きは、2月16日から3月15日までです。

くわしくは各税務署、各県事務

務所税務課、県税事務所、各市町村役場税務課へ

○個人事業者の消費税確定申告書の提出は3月31日までです。

くわしくは各税務署へ

おしらせ

県庁・県教育庁は 〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111



「紀の国大使」座談会—ふるさと和歌山を考える—

新たな飛躍が期待される和歌山の今後について「紀の国大使」に意見、提言をしていただきます。

日時 3月2日午後1時30分
場所 東急イン(和歌山市)

座談会 末広真季子、桂文福、小西博之、藤田平(予定)
定員 100人(多数の場合抽選)

申込 ハガキで住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、2月15日(必着)までに県庁広報公聴課「紀の国大使座談会」係へ
くわしくは申込先へ

県政モニター

対象 県内にお住まいで、県政に関心のある20歳以上の方。ただし、議員、公務員、県政モニター経験者は除きます。
定員 150人

任期 平成6年3月31日まで
応募方法 ハガキに住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号、県政についての関心のある事柄を記入し、3月1日までに県庁広報公聴課へ
くわしくは応募先へ

レクリエーション指導者講習会

日時 2月19日、21日二泊三日
場所 県立潮岬青年の家(串本町)
対象 レクリエーション活動に関心のある方
定員 70人(先着順)

参加費 30歳未満4,200円
30歳以上5,040円
申込 2月17日までに直接電話で県立潮岬青年の家☎(0734)210182へ
くわしくは申込先へ

県営住宅入居補欠者

港団地(有田市港町) 20戸
青木団地(湯浅町湯浅) 10戸
申込用紙配布 2月8日、23日
湯浅土木事務所、有田市役所、有田郡内各町役場
申込 2月24日、25日(午前10時～午後4時)湯浅土木事務所
総務管理課建築係へ
くわしくは申込先 ☎0737-6314111へ

県立高校の定時制・通信制課程の生徒

学校・学科 [定時制] 粉河、海南、箕島、耐久、日高、南紀
周参見分校、新宮(いずれも普通科)、紀の川、南紀(いずれも単位制普通科)、青陵(単位制普通科・単位制商業科)、和歌山第二工業(機械科、電気科、建築科)
[通信制] 紀の川(単位制普通科・単位制衛生看護科)、陵雲(普通科・衛生看護科)※衛生看護科は指定技能連携施設入所者に限る。
出願期間 定時制 2月22日、24日正午 通信制 3月1日、31日
学力検査 定時制 3月15日(単位制は学力検査のほかに3月16日に面接と作文) 通信制 中学校長からの書類により選抜。奨学金の貸与や授業料の減免制度があります。
くわしくは各学校、県教育庁学校教育課へ

奨東京学生寮の入寮者

資格 東京近辺の四年制大学に入学予定の男子で、保護者が県内に居住している方
定員 一年生 25人、二年 40人、三年 若干人
受付 3月1日、22日(必着)までに必要書類を(奨東京学生寮へ(郵送可))
面接 3月24日 県民文化会館

体力開発センター(サンウイング)初級スポーツ教室

期間 4月8日～6月26日
場所 県民文化会館
申込 ①往復ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢、生年月日、新学年、保護者名(印)、電話番号を記入し、2月27日(必着)までに〒640和歌山市中之島2252県民文化会館センター初級スポーツ係へ
②3月7日午前9時から県民文化会館センターで先着順に受付。受講料、印鑑をご持参ください。

区分	対象	教室名	曜日	時間	定員	受講料
①	幼児	親子(1~3歳児)水泳教室	金	10:00~11:00	50	7,690円
		4~6歳児	木	15:00~16:00	各40	5,130円
	児童	小1~2年	土	14:00~15:00	各40	5,130円
		小3~6年	日	10:00~11:00	各40	5,130円
	児童	親子(3歳児)体操教室	金	13:30~14:30	20	7,690円
		4~6歳児	月	15:00~16:00	25	5,130円
児童	小1~6年	朝	月	16:00~17:00	30	5,130円
		昼	月	16:00~17:00	30	5,130円
②	成人	ヘルスアップ	月	10:00~11:30	各30	5,130円
			火	10:00~11:30		
			木	10:00~11:30		
		金	10:00~11:30			
		火	13:30~15:00			
		土	10:00~11:30			
	女性	ヘルスアップシルバ	月	14:00~15:30	各30	7,190円
		リズムダンス	土	10:00~11:30		
		金	18:30~20:00			
	女性	レディースウエイト	月	18:30~20:00	各30	7,190円
		レディーススイミング	火	10:00~11:30		
		木	10:00~11:30			
成人(男女)	ヘルスアップシルバ	木	14:00~15:30	各25	7,190円	
	メンズウエイト	金	18:30~20:00			
	ヘルスアップ	火	18:30~20:00			
成人(男女)	アスレティック&スイム	木	18:30~20:00	各30	5,130円	
	ナイトスイミング	土	18:30~19:30			

くわしくは申込先 ☎(0734)31-7173へ



住まい

所在地 調布市佐須町3-16-2(京王線で新宿から約35分) 居室 1室2人用(洋室) 費用(予定) 入居金30,000円、食費月額18,500円、000円、食費月額18,500円、000円
くわしくは県教育庁総務課または受付先 ☎(0424)8212390へ

住宅を分譲します

岸宮サニータウン(貴志川町岸宮) 戸数 19戸(木造、プレハブ) 土地面積 178・12㎡、192・00㎡ 長山団地(貴志川町長山) 平均面積 約25㎡

宅地を分譲します

貴志川長山団地(貴志川町長山) 区画数 11区画 平均面積 約25㎡

催し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

第15回和歌山名流舞踏会 3月14日 正午～大ホール 3,500円

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「やさしいバラの育て方」 2月21日 「盆栽の整枝と植え替え」 3月7日

県立博物館 ☎(0734)23-2467

特別陳列「新発見・川中島合戦図屏風の世界」 2月27日～3月26日 一般 150円 高校・大学生 70円 小・中学生 50円

お気軽にどうぞ

交通事故相談 [常設相談] 月～金曜日 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3金曜日 受付 正午まで

[巡回相談] ●西牟婁県事務所 2月16日 ●伊都県事務所 2月24日 ●日高県事務所 3月2日 受付 午後3時まで

県民相談 [常設相談] 月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による法律相談] 毎月第2、4金曜日 受付 午前9時～11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●貴志川町役場会議室 2月17日 ●御坊市財部会館 2月19日 受付 午後1時～3時30分

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'93 金曜日 午後10時～(再) 日曜日 午前11時～
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
はばたく紀の国 土曜日 午後6時～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～(再) 月～金 午後5時40分～(再) 土・日 午後6時～

定期便教育の窓 第2、4土曜日 午後2時15分～

文字放送 (テレモ西日本511#)

紀の国・和歌山情報 毎日午前6時～深夜0時

考えよう 知ろう 語ろう 北方領土

平均価格 30、290千円
申込受付 2月10日～7月30日
和歌山市西丁丁26県経済センター16階 県土地開発公社管理用地課(先着順、同時の場合抽選)
※なお、新宮蜂伏団地、梅の木団地(新宮市)も分譲中です。
くわしくは申込先 ☎(0734)2811034へ

くわしくは申込先 ☎(0734)3312772へ

未就業看護職員の再就業移動相談

求人求職情報や最新の医療・看護情報を提供し、就業希望条件などの相談に応じます。
対象 看護婦(士)、准看護婦(士)、助産婦、保健婦の免許所有者で、現在看護業務に就いていない方

日時・場所 2月18日 新宮保健所(新宮市) 2月19日 田辺保健所(田辺市) 2月24日 御坊保健所(御坊市) ※いずれも午前10時～午後3時
くわしくは和歌山県看護協会 ☎(0734)4610121へ

年金手帳は明るい未来のパスポート

年金手帳は、厚生年金や国民年金に初めて加入した時に交付されるもので、転職した時や氏名変更した時、年金を受け取る手続きなどに必要ですから大切にしてください。
また、この手帳は1人1冊となっていますので、2冊以上お持ちの方は1冊にまとめる手続きをしてください。この手続きをしないと、年金を受け取る際に日数がかかる場合もあります。

建築士のための指定講習会

日時・場所 ①2月9日 県経済センター(和歌山市) ②2月12日 西牟婁総合庁舎(田辺市)
対象 昭和54年～60年に登録した建築士の方、昭和34年～53年に登録した建築士で前回受講していない方
定員 ①300名 ②120名
申込先 (和歌山県建築士会)

修学資金・就学支度資金を無利子でお貸しします

対象 高校や大学に就学する母子家庭などの児童
申込書配布 各県事務所、各市町村役場
受付 3月19日までに各市町村役場母子福祉担当課へ
貸付額などくわしくは県庁児童家庭課、各県事務所民生課(和歌山市の方は市役所厚生課)へ

融資

介護の基本を学んでください

お年寄りや体の不自由な方の介護実習などを通し、地域住民のみなさんに介護の知識や技術を学んでもらおうと、県介護普及センター(和歌山市毛見、琴ノ浦リハビリテーションセンター内)と県地域介護普及センター(田辺市神島台、真寿苑内)が、昨年十二月にオープンしました。

十二月二十四日から三日間、介護普及センターで行った、中・高校生を対象とした介護体験実習には、約二十五人が参加し、担当職員の車いすの扱い方やリハビリテーションの意味についての説明のほか、施設に入所している方とのふれあいを通して介護の大切さを学んでいました。

両センターでは、寝たきりの方を介護する方をはじめ、保健婦やホームヘルパー等の介護専門職員など、それぞれに応じた研修も開くことにしています。

なお介護普及センターでは、福祉機器の展示なども行っています。



駅前広場完成

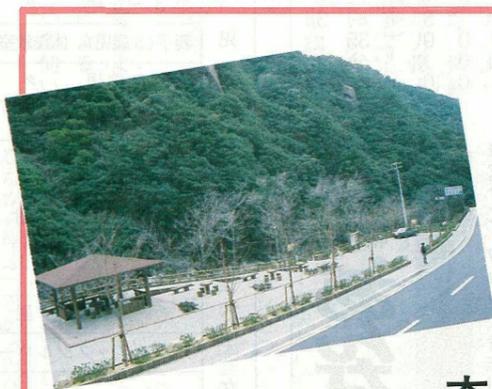
県が都市計画街路事業として進めていたJR御坊駅前広場の整備がこのほど完成しました。

総事業費約10億円のこの広場には、バス乗り場2カ所や30台分のタクシー待機場、駐車場などを設け、交通混雑の解消を図っています。

正面中央の歩道には、高さ約6mのステンレス製モニュメントを設置し、光る歩道(点滅式星座ブロック)などで見る人の目を楽しませています。(御坊市)



NEWS



ドライブ途中にひとやすみ

奇絶峡に休憩所が完成

田辺市の中央を流れる会津川上流、巨岩や奇岩が数多く、桜や紅葉の名所としても有名な奇絶峡に、このほど、景観にマッチした休憩所(広場)ができました。

休憩所は、県道田辺十津川線沿いに、東屋やベンチ、約500坪の遊歩道のほか、会津川の川原への石段などを設けたもの。

周囲には、桜やツツジを植樹していて、春には花見も楽しめそうです。乗用車十台分の駐車場もあるので、ドライブ途中に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(田辺市)

フランス ピレネーオリアンタル県知事来県

フランスのピレネーオリアンタル県のルネ・マルケス知事ら五人が来県しました。

一月五日に飯谷知事と会見した後、建設中の和歌山マリナーシティや高野山、暖地園芸センター、白浜リゾート施設などを見学。

ピレネーオリアンタル県は、地中海に面したフランス西南部に位置し、観光リゾート地として有名な所で、農業やワインの生産も盛んです。

世界リゾート博主催会場開催を来年に控え、友好提携に向けて本場リゾート地との交流を深めていきます。



新県立図書館等の愛称 「きのくに志学館」に決定



かねてから募集していた和歌山大学経済学部跡地に建設中の新県立図書館等の愛称が決定しました。

応募数239通の中から優秀賞に輝いた有田市の福田ユリ子さんの作品「志学館」に、福田さんの了承を得て「きのくに」の冠を配しました。多数のご応募ありがとうございました。

「きのくに志学館」。和歌山の新しい生涯学習の拠点となるようにとの願いが込められています。

3月末には建物完成、7月30日に開館の予定です。

知識

組織捕鯨の基礎を築く 和田忠兵衛頼元

「クジラの町」として有名な太地町。日本古式捕鯨の発祥の地で、その歴史は古く約七百年も前にさかのぼる。

和田頼元が捕鯨を組織化したのは、慶長十一年(一六〇六)であった。



それまでは、クジラが近づいてくると、手もりを持って一、二隻の舟で個人的に追うという消極的な漁を行っていた。

巨大な獲物には、村人総がかりの組織力を取り組まねばならないと考えた頼元は、刺手組を作る。

当初は、和田家で一組、和田一族で三組、村人で一組の計五組にすぎなかったが、この組織化が太地捕鯨の基礎となった。

これは、四、五隻の舟でクジラを取り囲んでもりで突く方法であった。

頼元の父頼国は、文禄元年(一五九二)秀吉の朝鮮出兵に熊野水軍の部将として出陣し戦死している。

頼元は、父から受け継いだ熊野水軍の伝統と技術を捕鯨に応用し活用したのであった。

その後、頼元の孫、頼治は、網でクジラを獲る方法を考え出し、太地捕鯨の全盛期を築いている。

当時は、鯨一頭で七つの郷がうるおおうと言われ、まさに命を張った大仕事であった。

慶長十九年(一六一四)没。

あとがき

一年中で最も寒い二月、暖冬とはいえ風邪などくれぐれもご用心。

リゾート博まで残すところ一年半。出展企業やその中身などが次々と決定してくるであろう今年、広報にとっても正念場の年です。カタカナをできるだけ使わないようにとの意見もたくさん頂くのですが、言い換えると意味やイメージが変わってしまうものもあり、悩みも多い広報となります。前売り券の発売も始まります、よろしくお祈りいたします。